

第6学年2組 学級活動（1）学習指導案

日時 令和6年9月25日（水）5校時
学校名 昭島市立拝島第一小学校
対象 第6学年2組 32人
授業者 浅野 里緒

研究主題

互いを認め合い、社会でよりよく生きる児童の育成
～学級・学校でよりよい人間関係をつくる活動を通して～

1 議題 「クラスの旗を作ろう」

学級活動（1）ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 目標

- ・みんなでよりよい学級生活をつくるために、よりよい合意形成や意思決定の方法について身に付けるとともに、自分の主張に事例や根拠をいれて話すことができるようにする。
- ・楽しい学級生活をつくるために、集団活動を通して、集団や自己の課題を見出し、解決をするために話し合いながら合意形成を図り、決まったことを実践することができるようにする。また実践について振り返る時間を取り、次の課題解決時に活かすことができるようにする。
- ・楽しい学級生活をつくるために、話し合いを通して多様な他者の価値観や個性を受け入れるとともに、自己の考えを深め、よりよい集団における生活及び人間関係を築こうとする態度を養う。

3 評価規準

ア よりよい生活を築くための知識・技能	イ 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	ウ 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

4 指導観

(1) 議題観

本議題は、小学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示)第 6 章特別活動

[学級活動]

2 内容(1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

3 内容の取扱い(1) [第 3 学年および第 4 学年]

理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見も受け入れたりしながら、集団としての目標や活動内容について合意形成を図り、実践すること。自分のよさや役割を自覚し、よく考えて行動する節度ある生活を送ること。

(2) 児童の実態

本学級のスローガンは「前進」で、様々な場面で、自分や学級全体の現状と向き合って前進しているか考え、成長を重ねてきた。また、最高学年として様々な活動を経験していく中で、戸惑いながらも、何事にも前向きに挑戦する姿も見受けることができる。

授業中は、自分の考えをもって学習に取り組み、学習内容を自分事として捉えて、授業に参加する姿が見られる。一方で、自分の考えをすすんで表現することが難しく、課題が見られる。その課題解決に向けて、様々な学習活動の中で話し合う時間を設け、表現し合う時間を意図的に設け、児童同士の意見交換をする経験を重ねている。

学級会では、自分たちが主体となって取り組む経験は少なく、数多くの意見を絞り、合意形成を図ることが難しい。そのため、児童一人一人が議題を自分事として捉え、よりよい合意形成を目指して学級会に参加できるような姿を目指していきたい。

[これまでの学級会での議題、決まったこと]

回数	月日	議題	決まったこと
第一回	4 月 11 日	オリエンテーション 「学級目標をきめよう」	・学級のスローガン：「前進」 ・学級目標： 「笑顔」「元気」「低学年のお手本になる」 「当たり前を当たり前」「挑戦」「成長」
第二回	6 月 11 日	「一年生と遊ぶ計画を立てよう」	・遊びは 3 つ、15 分ずつ行う。 ・遊びの種類は「ゴロゴロドカン」「じゃんけん列車」「新聞じゃんけん」
第三回	9 月 10 日	「『残り 6 か月よろしくねの会』をしよう」	・遊びは 3 つ、12 分ずつ、体育館で行う。 ・遊びの種類は「ドッジボール」「大縄跳び」「体育館リレー」
第四回	9 月 25 日	「クラスの旗を作ろう」	

(3) 教材観(議題選定の理由)

本議題は、2学期を迎え、様々な行事に向けた準備をする中で、子供たちから上がってきた議題である。子供たちからは「卒業に向けてクラスで心を一つにして各行事に取り組むことが大切ではないか」「クラスを一つにするために何かをみんなで作りたい」という意見が出され全体で話し合っ
 中で「クラス旗を作成しよう」という議題に決まった。

運動会・音楽会に向けて改めて「学級の皆で心をひとつにしていきたい」という思いが高まり、学級会で話し合うことにした。自分たちの目標を書いた旗を作ることを通して、学級の成長を振り返るとともに、学級への所属感を高めていく。

クラス旗を作る活動を通して、互いに励まし合いながら本番に向けて意識を高め、よりよい人間関係を築いていくことができる力を育てていきたい。

5 指導計画と評価計画

日時	○児童の活動		□評価基準(評価方法)
	計画委員会の活動	学級全体の活動	
9/18(水) 休み時間	○役割分担をする。 ○議題の確認を行う。		□ウー役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。(観察)
9/19(木) 休み時間	○学級会コーナーを作成する。 ○全体に議題を伝える。	○全体に議題を確認する。	□ウー役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。(観察)
9/20(金) 休み時間	○SKYMENUを活用し、意見を集める。 ○意見を整理する。	○SKYMENUに自分の考えを打ち込む。 【事前の考え】 前進…12人 笑顔…6人 協力…3人 団結…2人 挑戦…2人 成長…2人 最高…2人 一緒…1人 友情…1人 頂点…1人	□ウーみんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解し、自分の考えをもつことができる。(SKYMENUの発表ノート)
9/24(火) 休み時間	○進行の確認を行う。		□ウー役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。(観察)
9/25(水) 本時	○学級会を運営する。	○学級会を行う。	□アー合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。(観察) イー多様な意見のよさを生かして、合意形成を図っている。(観察)

6 指導に当たって

(1) 目指す児童像

話し合いを通して友達の意見を受け入れながら、意見をまとめて、よりよい解決策を出して、協力して実践し、よりよい人間関係を築くことができる児童。

(2) 目指す児童像に迫るための手だて（研究の視点に基づいて）

手だて1 計画委員会のよりよい運営指導

① 計画委員会を輪番制で行う。

計画委員会は、学級活動を児童主体の活動とするために、教師の指導の下、学級会の議題の選定、学級会の司会、進行や書記、実践までの準備を行う組織として位置付けている。その計画委員会を輪番制で行い、多くの児童に経験させることで、協力し合える学級会の雰囲気をつくることができると考えた。

② 計画委員会で意見を整理する。

学級後方に学級会コーナーを設け、計画委員会が議題、提案理由や話し合うことを提示し、児童一人一人が事前に自分の考えを SKYMENU ノートやワークシートに記入した状態で学級会に臨めるようにする。また、事前に計画委員会の中で一人一人の意見を整理し、だれがどの意見をもっているかを把握しておくことで、意図的指名をすることができるようにする。このことで多くの児童が意見を表出するとともに、時間の効率化も図れると考えた。

③ 司会団お助けカードを活用する。

司会団お助けカードとは、「発表が話題からそれてしまったとき」「意見が対立して話し合いが進まないとき」「意見をまとめるとき」など司会グループが困ったときに活用するものである。また、司会団を経験したグループの振り返りや助言が記されており、よりよい司会団を運営できるようにするものである。

手だて2 意見をより表出できる（場づくり）

① ハンドサインを活用し、より意見を表出できるようにする。

友達の意見に対して、自分の考えを示す方法としてハンドサインを取り入れる。ハンドサインのよさとして、全員が学級会に主体的に参加するところにある。ハンドサインを出すためには、友達の意見をよく聞く必要がある。人前で発表することが苦手な児童でも、全員が安心して考えを示すことができる環境づくりに繋がると考える。また、ハンドサインを示すことによって、副司会者が指名する際に、相手やその順序を考慮しながら指名することができ、円滑に学級会が進むと考える。

② ペア対話の時間を設ける。

事前に意見をもっている、自信がなく発表することが難しい児童が多い。そこでペア対話を取り入れることで、消極的な児童も発言しやすく、話し合いへの参加が期待できると考える。

手だて3 よりよい「議題設定」の工夫

- ①1学期の学級会の経験をもとに、議題例カードを作成し、教室に掲示をする。
学級会でどのようなことを話し合えばいいのかわからない児童や、議題案が浮かんできて、うまく言葉にできない児童に対して、積極的に学級会に参加しやすくするための手だてになると考えた。
- ②司会団（計画委員会）が議題を選定する際に「目的意識をもちやすい議題」「見通しがもちやすい議題」を設定することで、積極的に意見を出し合い、より活発な学級会になると考えた。

手だて4 見通しをもって学級会に取り組める（教室環境づくり）

- ①後ろの黒板を活用し、議題、提案理由、話し合いのめあて、決まっていること等を、事前に提示しておくことで視覚的にも話し合いの方向性や見通しをもつことができ、学級の一員ということを自覚して学級会に臨むことができると考えた。
- ②学級会の「前進」
学級会は、他教科のように数値による評価がされるものではなく、成長や課題を感じにくく、話し合い一つ一つが単発の活動になりがちである。そこで、学級会の経験を次の学級会に繋げていき、学級会を「クラス全員でよりよいものにしていこう」ことを意識できるようにするために、教師が気付いた学級会のポイントや、学級会後の振り返りで児童から出てきた「良かった点」「改善点」を教室に貼り出した。

7 本時の展開

- (1) 議題「クラスの旗を作ろう」
- (2) ねらい
 - ①「提案理由」「決まっていること」を常に意識しながら、話し合うことができる。
 - ②出された意見を基に組み合わせたりするなど、創意工夫を活かして、合意形成を図ることができる。
- (3) 提案理由
 - ・6年生として行事やこれからの学校生活に向けて心をひとつにし、気合いを入れるため。
 - ・一致団結して6年2組の魅力を伝えるため。
- (4) 決まっていること
 - ・熟語を入れる。
 - ・1つの旗にまとめる。
 - ・旗の大きさは90 cm×125 cmで、色は白色にする。
 - ・作成した旗は、運動会や音楽会など行事で活用する。

(5)教師の指導計画

時間		○指導上の留意点 ★配慮事項 ◇評価
5分	1 始めの言葉 2 司会グループの紹介	★授業前に議題・めあて・話し合うことについて書き、全体が見通しをもてるようにしておく。
35分	3 議題の確認 「クラスの旗を作ろう」 4 提案理由の確認 提案理由： 「6年生として行事やこれからの学校生活に向けて心をひとつにし、気合いを入れるため。」 「一致団結して6年2組の魅力を伝えるため。」 5 話合いのめあての確認 「賛成意見をいっぱい出そう」 「緊張せずにハンドサインを使って、自分の考えを発表しよう」 6 決まっていることの確認 ①熟語を入れる。 ②1つの旗にまとめる。 ③旗の大きさは90cm×125cmで、色は白色にする。 ④作成した旗は、運動会や音楽会など行事で活用する。 7 話合い 話し合うこと 「クラスの旗に書く熟語決めよう」 ※時間が残ったら、役割分担を考える時間にする ・どんな役割が必要か (下書き・文字を書く人・色塗りなど) ・どこに所属するか →名前の磁石を貼る 8 決まったことの発表	○自治的な活動の範囲外に自分たちで気付かないなど、必要な場合は助言する。特に人権上配慮が必要な場合は指導する。 ★SKYMENU の発表ノートで事前に全員の考えを集め、黒板に書いておく。 ○提案理由から離れてしまった発言があったときに、司会団が全体に助言できるよう、事前指導をする。 ★「司会団お助けカード」や「ハンドサイン」を活用する。 ★ペアで対話する時間をつくる。 ○児童の活動の様子（発言・行動・つぶやき）を記録し、終末の助言で取り上げる。 ※取り上げる内容 ・前回から成長が見られた言動 ・司会グループの工夫、努力 ・友達、学級全体のことを考えた言動 ・話合いをまとめるような建設的な発言 ・提案理由を意識した発言 ・次への成長のために気付かせたいこと ・実践、生活への意欲付け ◇アー合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。(観察) ◇イー多様な意見のよさを生かして、合意形成を図っている。(観察)

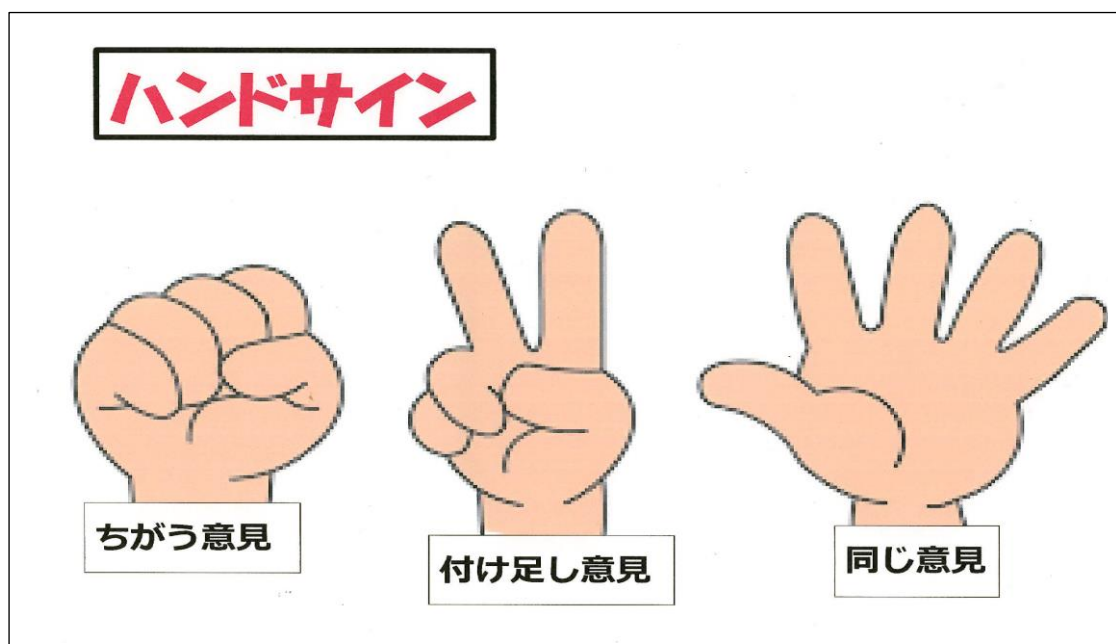
5分	9 振り返り 10 先生の話 11 終わりの言葉	○今までの振り返りを踏まえ、自分や友達のよかったところを振り返るように助言する。 ○次の学級会に向けて良かった点や改善点を書かせる。 ○本時の児童の言動の中から、具体的な事実や名前を挙げて称賛する。 ○これからの活動への意欲付けをする。
----	--------------------------------	--

(6) 板書計画

決まったこと	13:45~50に決定!	話し合うこと みんなの考え	● 熟語を入れる。 ● 一つの旗にまとめる。 ● 旗の大きさ 90 cm × 125 cmで、色は白色にする。 ● 作成した旗は、運動会や音楽会など行事で活用する。	決まっていること	めあて	● 賛成意見をいっぱい出そう。 ● 緊張せずにハンドサインを使って、自分の考えを発表しよう。	議 題 クラスの旗を作ろう! 提案理由 ● 6年生として行事やこれからの学校生活に向けて心をひとつにし、気合を入れるため。 ● 一致団結して6年2組の魅力を伝えるため。	第四回 学級会
--------	--------------	------------------	--	----------	-----	--	---	---------

(7)資料

★ハンドサイン 掲示



学級会 活動計画 (司会グループ ③)

第4回 学級会 話合いの日 9月 25日 (水)			
議 題		クラスの旗を作ろう！	
提案理由		・ 6年生として行事やこれからの学校生活に向けて心をひとつにし、気合いを入れる。 ・ 一致団結して、6-2の魅力を伝える。	
決まっていること		・ 熟語を入れる。 ・ 1つの旗にまとめる。 ・ 旗の大きさは90cm×125cmで白色。 ・ 作成した旗は、今後の行事で使う。	
役 割		司会：	黒板記録：
		副司会：	ノート記録：
話合いの順序		時 間	気を付けること
1 これから第○回～ 2 司会グループの紹介 (司会Gのめあてを言う) 3 議題の確認 4 提案理由の確認 (提案者より) 5 話合いのめあての確認 6 決まっていることの確認	5分	司会・副司会 ・ シーンとした時間をつくらない。 ・ 賛成意見をいっぱい出せるように声をかける。 ・ 時間内に終わらせる。 ・ 声を大きくする。	黒板・ノート ・ みんなが見やすい字で書く。 ・ みんなが分かりやすい言葉で書く。 ・ 書きながら気付いたことを司会・副司会に声をかけてサポートする。
○ 13:20 から	33分		
7 話合い			
○ 13:45～50 までに決める	7分		
8 決まったことの発表			
9 振り返り・発表	7分		
○ 13:55 から			
9 先生の話			
10 これで第○回～			

心配ポイント	解決策
①「前進」という考えの人が多い。	・「前進」以外の人たちの意見をよく聞く。
②最初の考えの種類が多い	・選ばれなかったものは、旗の周りや裏に書くのはどうか提案する。 ・友達の考えを聞いて、考えが変わってもいいことを伝える。
③合いだけでは解決できない。	・種類を3つまでにしぼる。 ・どれになってもよいかどうかみんなに確認をして、多数決をする。
④同じ人しか発言をしない。	・グループで話し合う時間をつくって発表する。

★司会団お助けカード

司会団お助けカード	
①話題がそれたとき ●今は〇〇について話し合っているので、〇〇については後で話しましょう。 ②意見が行き止まったとき ●周りの人と〇〇について2分話し合って、考えをまとめてください。 ●みなさん、もう一度、提案理由と決まっていることを意識してください。 ●ぼく/わたしはこれがいいと思いますが、どうですか。 ●「 」と「 」の考えがあります。みなさんはどう思いますか。 ③合意形成が難しいとき ●たくさんの意見が出た場合…みんなの考えを聞く。(手を挙げてもらう) ●どれに決まってもよい場合…みんなの考えを聞く。 ●意見が多くあり、まとまらない場合… ★意見が分かれていて、なかなか決められません。まとめられる意見はありませんか。 ★A案とB案は似ているので、1つにまとめてもいいですか。 ④発言者がかたよっているとき（きまってきているとき） ●発言者が決まってきています。みなさんはどう思いますか。みんなで話し合って決めましょう。 ●もう一度考える時間を設けます。〇分間～について考えてください。 ●近くの人と相談してください。時間は〇分です	⑤発言者の発言内容が分かりにくそうなとき ●〇〇さんの意見をより具体的に説明できる人はいませんか。 ⇒誰かが説明する⇒〇〇さん、先ほどの内容は今△さんが言ってくれたことと同じですか。 (必ず最初の発言者に確認をする) ⑥クラスの空気が軽くなり、一度気を引きひきしめた方がいいとき (手遊び、話を聞いていない、いたずら書きをしている、関係ない話をしている姿が確認できたとき) ●リアクションが薄くなっています。発言者のためにも、クラスのためにも、リアクションや反応しっかりしましょう。 ●みなさん、クラスで決めた「よい聴き手」をもう一度意識してみんなで取り組みましょう。 ●少し空気が軽くなってきている気がします。みんなで決めることができる私たちです。一度深呼吸をして、もう一度参加者になりましょう。 ⑦心配意見しかない意見があるとき ●心配意見しかないで、この意見は今回、見送るかたちでいいですか。 ⑧どのように進行すればいいか分からなくなったとき ●どうしたらよいでしょうか。助けてください。 ●ヘルプカードを使いますか。(ヘルプカードがでたら教師が助言をする)